

令和 7 年度認知症施策の推進に係る東海北陸厚生局管内 6 県意見交換会資料

令和 7 年度 認知症施策の推進に係る 市町村支援に向けた取組 （岐阜県）

令和 7 年 1 1 月 1 7 日
岐阜県健康福祉部高齢福祉課
同 医療福祉連携推進課

市町村の現状と県の取組（事業等）	評価・課題
<p>①認知症初期集中支援 【現状】 R6.3) 41チーム203人に訪問⇒ R7.3)42チーム242人に訪問。 チーム員の連携進んでいる。 チーム員会議開催数（R5）149回⇒（R6）179回 【県の取組み（事業等）】 ・認知症初期集中支援チーム員フォローアップ研修 [Web研修(一部ハイブリッド形式)] ・初期集中支援に対して、アドバイザー派遣 [集合研修]</p>	<p>地域包括支援センターと認知症初期集中支援チームでの役割分担が明確ではない。包括職員との兼務も多く、区別した活動ができないなどの、市町村からの意見がある。県としては、市町村の希望に応じて、アドバイザーを派遣し、初期集中支援チームの活動の方向性などを助言していただいている。</p>
<p>②認知症地域支援・ケア向上 ○認知症カフェ R6.3) 設置41市町村、172か所 ⇒ R7.3) 設置42市町村、182か所 ○認知症ケアパス 【現状】・全42市町村のうち、41市町村で作成済み。 ・未作成の1村は、令和7年度中作成予定。 【県の取組み（事業等）】 ・県内各市町村の認知症ケアパスの活用状況などについては、定期的に調査を実施し、その結果を提供している。 ○認知症地域支援推進員の活動状況 【現状】 ・全42市町村に、202名配置済（令和7年4月1日現在） 【県の取組み（事業等）】 ・推進員ネットワーク会議を開催。事前調査に基づき各市町村の課題を収集するとともに、課題解決に向けての情報交換等を行った。[集合開催(一部ハイブリッド形式)]</p>	<p>○認知症カフェ 全市町村で設置済みとなったが、実施内容や、認知症本人や家族の参加などについて、課題としている市町村も多い。 ○認知症ケアパス ケアパスについては、未作成の町村が1村、作成をしたが活用が十分でないところが、1町ある。県としては、『認知症ケアパスの手引き』を配布し、その作成や活用及び見直しについて、各市町村へ働きかけている。 ○認知症地域支援推進員 ・推進員の活動については、県として、推進員研修の積極的な受講を勧奨することにより、推進員のスキルアップを図るとともに、そのネットワークづくりを行っている。</p>

市町村の現状と県の取組（事業等）

評価・課題

③認知症サポーター活動促進・地域づくり推進

○チームオレンジ活動状況等

【現状】

- ・R6年度末時点で、チームオレンジ設置済みは21市町、R7年度中設置予定が11市町、未定が10市町村。

【県の取組み（事業等）】

- ・R6年度は、コーディネーター研修（R7.1.20 オレンジ・チューターによる講義や先進事例の紹介等）を開催するとともに、希望市町村に対しオレンジ・チューターを派遣する伴走支援を実施（3市町8回）。

本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み（チームオレンジ）については、国の大綱や第9期岐阜県高齢者安心計画において、R7年度末までに全市町村で構築することを目標に取り組んできた。今年度は最終年度にあたるため、設置予定を未定としている10市町村の状況確認・支援に注力することとし、プッシュ型でオレンジ・チューター派遣事業を実施する予定。

④その他及び県独自の取組及び若年性認知症支援について

○岐阜県認知症希望大使

- ・認知症の本人発信支援、認知症への理解普及のため、R4年度から岐阜県認知症希望大使を委嘱（4名）。

○若年性認知症支援

【現状】

- ・岐阜県若年性認知症支援センター（大垣病院）を中心に相談支援を実施。各地の認知症疾患医療センター（7か所）とも連携。

【県の取組み（事業等）】

- ・センターの事業として、ネットワーク会議、就労ネットワーク会議、就労支援に関する研修会、普及啓発物の作成・配布等を委託実施。

認知症希望大使は、今年度も1名委嘱予定で、概ね毎年度委嘱できているが、圏域の偏りや活動状況にばらつきがある等の課題がある。

全県域を対象とした若年性認知症カフェ（本人・家族ミーティング）を、毎年圏域を変えて開催（R7.10.11 岐阜圏域）。参加者からは県域でネットワークの構築ができるなど好評であるが、参加者の移動やスタッフの確保等に課題がある。

（総評・今後の方向性・今後重点的に取り組むこと）

- ・認知症地域支援推進員の質向上のため、情報共有の支援や先進事例の紹介等に取り組んでいく。
- ・岐阜県認知症希望大使と協働した普及啓発活動や、チームオレンジ設置支援に取り組んでいく。

岐阜県 (3) その他 認知症基本計画に関すること

認知症基本計画に関しての県の取組状況

① 認知症基本計画策定についての県の方向性（従来の計画に追加若しくは新規での作成）と進捗状況

第9期岐阜県高齢者安心計画（老人福祉計画・介護保険事業支援計画、計画期間：令和6年度～令和8年度）と認知症施策推進計画を一体的に策定している。

国の認知症施策推進基本計画が策定されたことを踏まえ、令和7年2月に内容等を検証し、留意事項を踏まえた策定過程を経ていること、基本的施策に沿った事業内容となっていることから、引き続き当該計画を岐阜県認知症施策推進計画として推進していくこととした。

② 施策の効果を評価するための指標の設定とその測定について

第9期岐阜県高齢者安心計画における「認知症施策の推進」関係の目標は次のとおり

- ・認知症サポーター数 ・キャラバン・メイト数 ・チームオレンジ設置市町村数
- ・高齢者の見守りネットワーク整備市町村数 ・希望大使設置数 ・各種認知症関係研修受講者数
- ・認知症サポート医数 ・認知症ケアパスを作成している市町村数 ・介護予防のための通いの場の参加率

③ 市町村における計画策定状況の把握と支援・助言について

市町村の計画策定状況について、現在のところ県独自での把握や、支援・助言は行っていない。

なお、国の実施している認知症総合支援事業等実施状況調べ（R7.6月）においては、策定済みは6市町あり、また、7割以上の市町村が介護保険計画と一体的に策定又は策定予定としている。